

第3回岩出市の環境をまもる審議会

1. 日時：令和7年10月28日（火） 15時30分～16時30分
2. 場所：岩出市総合保健福祉センター 3階 視聴覚室
3. 出席者：会長他委員13名、事務局5名
4. 議題：岩出市有料指定可燃ごみ袋
 - ・特小袋のサイズの決定、袋の表記等の協議について
 - ・特小袋導入のスケジュール
 - ・一般廃棄物処理手数料の価格協議について
5. 会議形式：公開
6. 傍聴者：なし
7. 議事概要：司会者 開会
会長 挨拶
 - ・ごみ袋の外国語の表記について
 - ・ごみ袋の運用とサイズの決定について
 - ・一般廃棄物処理手数料の価格協議について
 - ・特小袋導入のスケジュール
 - ・答申について

（ 説明終了 ）

主な質疑応答

議 長

第2回審議会において、特小袋の作成を行うことは議決いたしました。今回の審議会では、特小袋のサイズと運用について、また外国語の表記についてのご検討をお願いします。まずは事務局より、説明をお願いします。

事務局

前回、岩出市に在住している外国人の方がどこの国が多いのかという質問に対し、調査しました。まず人口についてですが、令和3年9月30日時点では484名の方が居住しており、現在の令和7年9月30日時点では744名と倍近くに増えていることが分かります。このことから、外国語表記は必要ではないかという事が伺えます。では、次に国籍についてですが、1位がベトナムとなっており、インドネシア、韓国、中国、フィリピンが上位を占めています。このことから、英語圏・韓国語圏・中国語圏となり、表記を加えるのが適切ではないかと考えています。

2ページ・3ページに関しては、現在のごみ袋とその外袋のデザインとなります。4ページ・5ページは先ほどの説明にあったとおり、英語・中国語・韓国語の表記を足したものになります。ご確認お願いいたします。

委 員

異議なし。

議 長

続いて、特小袋のサイズとその運用方法についてですが、サイズと新しいのを加えて4種類の運用か、20リットルを廃止して3種類で運用するのか、皆様のご意見を伺いたい。

【委員意見（サイズについてのまとめ）】

- ・10リットルは小さすぎる。15リットルがいいのでは。

- ・ 10リットルを生ごみ用に使いたいという声がある。
- ・ 近隣の住民に聞いた。10リットルがよいとの意見だった。利用価値が高いのではないかな。
- ・ 15リットルは中途半端。特小ということであれば10リットルがよいのではないかな。
- ・ 運用数を増やさないなら、15リットル。
- ・ 前回のアンケート結果で「どちらか作るなら」で15リットルが多く、6割近かった。

【委員意見（運用についてまとめ）】

- ・ 前回のアンケート結果で6割が今のままでよいという意見だった。だが、それでも作るなら15リットルを作って、20リットルを廃止し、3種類で運用。
- ・ 20リットル廃止で15リットルと10リットルを運用とし、4種類で運用。
- ・ 15リットル・10リットルも作って、5種類で運用。
- ・ 現在の3種類に10リットルを追加し、4種類で運用。
- ・ 20リットル廃止は難しいのではないかな。
- ・ 特小袋を作成することで、出す袋の数が増えてクリーンセンターの収集の手間が大幅に増えないのか。
- ・ 特小袋を用いて、気軽に出せるようになることで、前日からなど早く出しカラスや獣被害が増えるのではないかな。自治会での負担も増えるのではないかな。
- ・ 取扱店舗の費用対効果はどうなっているのか。販売する場所の確保など、新しく増えたときに取り扱うことができるのか。
- ・ 特小袋をレジ袋として使用するなどして、レジ袋削減を行っているところもある。

議 長

様々な意見がでています。話をまとめる前に、特小袋によって袋の出す数が増えて、クリーンセンターへの収集の手間が増えるというご意見があったが、事務局としての考えはどうか。

事務局

市としては、はっきり申し上げてメリットはない。クリーンセンターの懸念としては、大きいごみに隠れた収集漏れや、暴風の日など軽さのために道路に転がり出たりなどの懸念はある。ただし、これからの高齢化社会を鑑み、1回に出すごみが少ないというお声や持っていく際の重さに関するご意見もある。それに加え、ごみ袋で処理手数料をいただいているが、ごみの減量化を目指すうえで、ごみ袋の選択肢を増やすことで減量化に対する意識向上を目的としている。

質 疑

ごみの減量化を目的とした、ごみ袋の選択肢の幅を広げるということですね。収集の方は、確かに手間も増えるしリスクも増えるとのことでした。先ほどの意見にもあった、特小袋で気軽に出せるようになることで、早く出す人が増えて鳥獣被害が増えると思いますが、どう考えていますか。

委 員

早くごみを出すことに関しては、モラルの問題ではないか。地域で互いに守るように伝え合うのが必要ではないか。そのために自治会がある。ない場所についても、利用者で集積所の管理は行うべきだし、収集に協力するというのが市民の務めです。

委 員

確かに、市民のモラルの問題です。ですが、現状、それを守らない人がいる。そしてそのような人が増えてきているという事もわかってほしい。自治会が管理しているところでも抜けた人が、何食わぬ顔で出し、集積所の維持について協力しないことが多い。

委 員

それでも、収集日の朝に出すのが普通なのだから、互いに守るように伝えていきましょう。市民

の務めとして協力していくようにしていきたい。

委 員

わかりました。ただ、特小袋を作成することが、メリットもあればデメリットもあることは分かっています。

事務局

ごみの出し方や、集積所の管理については、自治会や利用者の方々のご協力やご苦勞も理解している。市としても、市民の皆さんへ啓発等に努めていく。

議 長

他に、取扱店舗のお話が出ていました。まず予備知識として、クリーンセンターではごみを燃やすために年間10億円かかるそうです。そのため、市としてはその費用を減らすためにごみの減量化を目指しています。現在、店舗で取り扱ってもらうために、市から「ごみ袋10枚1セットで店舗へ35円、商工会へ10円」の取扱手数料を支払っています。これは、どの大きさの袋でも同じです。袋が小さくなり、回数が増えることで倍の手数料が支払われます。

委 員

スーパーや小売店はボランティアではない。支払われるごみ袋取扱手数料は、平成24年度から変わっておらず、取扱店舗によっては、ごみ袋の陳列棚を占める割合でその他の品物の売り上げも変わってくる。管理報告などもあり、人件費の高騰などで費用対効果が悪いと感じる店舗も出てくる。事務局としてはどう考えているか。

事務局

事務局としては、取扱店舗への説明は十分に行うつもりであるが、取扱手数料については、今後話し合いを行っていきたい。

議長のお話にもあったが、クリーンセンターでのごみの処理は年間10億円かかっている。この費用を削減するためにごみの減量化を行いたい。そのために、市民の皆さんに選択肢を増やすことで、よりごみの分別の徹底と減量化にご協力いただきたい。クリーンセンターとしても、滞りなく処理するために日々メンテナンスを行っているが、修繕費もかさんでいる。

議 長

商工会をはじめとする取扱店舗との、ごみ袋の取扱手数料については、今後協議していただきたい。物価高騰の流れもある中で、市民にとってごみ袋の大きさを選択することができるのは良いと思う。では、それぞれの選択肢をもって、多数決で決めたいと思うか、どうでしょうか。

委 員

異議なし。

議 長

意見で出ていたものを選択肢としてまとめます。

【選択肢】

- ・15リットル追加、20リットル廃止・・・3種類
- ・15リットルを追加・・・4種類
- ・10リットルを追加・・・4種類
- ・15リットル・10リットル追加、20リットル廃止・・・4種類
- ・15リットル・10リットル追加・・・5種類

質 疑

20リットル廃止は、難しいのではないかと。また、5種類の運用とあるが、先ほどの店での陳列棚の確保や市の保管等のコスト面は大丈夫なのか。事務局として、どう考えているか。

事務局

事務局として、まず5種類は実現が難しいと考えています。製造コスト・店舗の品数が限られている中での袋の占める割合と店のバックヤードでの在庫保管のコストと場所。市での保管についても現在でも厳しい中、特小袋1種類であれば、他の袋の製造が減った分で補えると考えますが、5種類となるとハード面が整備できていない。

次に、20リットルですが、今回の市民アンケートでは1～2人世帯の方のみのご意見となっている。20リットルを使うご家庭は、3人世帯以降にも多くいることから、市としては20リットルを廃止しない方がよいと考えている。

議長

確かに、4種類であれば他の減った袋分という事で、保管場所の確保はできるかもしれないが、5種類となるとそれが難しいという事ですね。20リットルについては、他の世帯の方も多く使用していることなどから廃止はしない方がよいとの事です。

管理している事務局のお話を聞いて、まず運用の種類について多数決をとってよろしいですか。

委員

異議なし。

【選択肢】

- | | |
|-----------------|--------|
| ・ 3種類（20リットル廃止） | ・・・ 4票 |
| ・ 4種類 | ・・・ 9票 |
| ・ 5種類 | ・・・ 0票 |

議長

4種類という事で決定しました。

次に袋の大きさですが、15リットルと10リットルで多数決を取りたいと思います。

【選択肢】

- | | |
|----------|---------|
| ・ 10リットル | ・・・ 12票 |
| ・ 15リットル | ・・・ 1票 |

議長

10リットルで決定しました。

委員

20リットルを残すという事であれば、15リットルだと対して差はないし、10リットルがよいと考えました。

議長

では、市長への答申として、10リットルの特小袋を作成すると決議しました。運用の開始時期については、市民のみなさまへ混乱をきたさないよう適切に周知し、助けとなるように運用をしていただきたい。

それでは、市長への答申についてですが、この審議会で決定したことを反映して行わせていただくが、事務局として答申の案などは用意していただいているのか。

事務局

答申の内容について、今回審議いただいた部分については空白であるが、案を用意しているのでお配りします。

議 長

事務局よりいただいた案についてですが、基本はこれで良いと思う。今回決定した内容について、反映していただき、最終の文面の調整については私と事務局で確認してよろしいでしょうか。

委 員

異議なし。

議 長

承認が得られましたので、後日、本審議会からの答申を市長へ行わせていただきます。

まとめ

- (1) 外国語表記は、英語・中国語・韓国語とする。
- (2) 岩出市有料指定可燃ゴミ袋の運用は、大・中・小・特小の4種類とする。
- (3) 特小袋のサイズは、10リットルとする。
- (4) 運用の開始時期については、混乱をきたさないよう周知等を行うこと。